

大垣で技術職員研修開催！ 『最新の治水対策事業』 学ぶ！

- 木曽川、長良川、揖斐川の木曽川水系の最新の治水事業を学ぶ研修会が、2月20日（木）、大垣市馬瀬^{うまのせ}地先の揖斐川大垣河川防災ステーションで開催されました。研修会は、岐阜県西濃土木協会の主催で、大垣市、海津市など近隣2市6市町村の若手技術職員約40名が受講し、真剣な様子で講義に耳を傾けていました。

講師を務めた木曽川上流河川事務所の上野^{うえの}副所長は、近年、局地的豪雨による大規模浸水が全国各地で発生している現状を踏まえ、「河川整備計画に位置づけた事業を、河川管理者として、今後も責任を持って着実に進めていく必要がある。また、災害発生時には、被害軽減に向けた市町村等への支援活動を、国としても積極的に関わっていきたい！」と認識を示しました。



講師を務めた木曽川上流河川事務所・上野副所長



研修会に参加した傍聴者の様子

【災害時の地域支援活動の事例】

養老町の要請により排水ポンプ車を派遣：平成25年9月（台風18号）



浸水被害の状況（9月16日） 養老町直江地先



排水ポンプ車による排水状況